

バッハウィーク in JAPAN

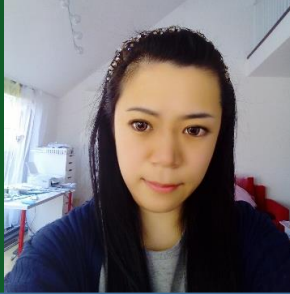
バッハの音楽の原点は人のために歌う事

JS バッハは幼い時に両親を亡くしました。苦しい家計を助けるため、お葬式で歌をうたって人々を慰めお金をもらっていました。どんな表現で歌ったら悲しみに沈む人たちの心が癒されるのだろうか、いつもいつも考えて歌ったそうです。それはそれは美しいボーイソプラノだったそうです。

バッハの死後何年たってもその優れた思想・作曲技法は多くの作曲家に学ばれました。

今日は特にバッハから強く影響を受けた作曲家の曲もあわせてお聞きください。

どの曲も安らぎや生きる力に漲り美しい曲です。



バッハの聖地ライプツィヒでデビュー以来ヨーロッパ各国のオーケストラのソリストや音楽祭に招聘されている。前回のバッハフェストで弾いたシャコンヌは世界一の絶品と評された。脳と感性と空間快適性について自ら論文を学会に発表する等研究活動にも力を入れる稀有で多才なヴァイオリニストである。ドイツ在住



2005年ショパン国際コンクール第4位入賞、ワルシャワ・ショパン音楽アカデミーを首席卒業。ヨーロッパ主要オーケストラと協演各国で音楽祭に出演、コンサートを開催美しい音色、優しく力強い表現と各地で大好評を得る。究極快適空間の実現プロジェクトにも参加している。ワルシャワ在住



玉川大学脳科学研究所
教授 松田哲也

日本では今ストレスが社会的問題になっています
音楽がストレス緩和に良い効果があるといわれていますが、実際に音楽を聞くと脳がどのように変化するのでしょうか。
今回自らもバッハの音楽に救われた経験を持つ斎藤アンジュ玉藻のコーディネイトで、音楽療法に最も多く使われているモーツァルト、ロマンあふれるショパンそして引きこもり経験者のラヴェルが復活後最大級のエネルギーを吹き込む事に成功した超難曲「ツィガーヌ」をお聞きいただきたいと思います。
今回脳科学者の松田哲也教授をお迎えし、音楽と脳のお話、特に子供にとつての音楽についても伺ってみたいと思います。
私達は研究チームを作り音楽が現代社会に貢献して行く事を目指し活動を始めました。皆様の暖かいご理解とご協力をお願いいたします。

音楽プロデューサー 斎藤恵美子

お知らせ 1月21日玉川大学ホールにて(詳しくはスタジオ TO2 HPで)
第1回「脳と芸術」についての最先端科学者たちによるシンポジウムとコンサート開催予定
論文「音楽と映像のコラボレーション その現状と今後」(2017年第45回画像電子学会年次大会 AIM 企画セッション (金田北洋・斎藤恵美子) に基く
プロジェクトマッピングと音楽の幻想的共演: その時脳に何が起こるか

すべての方々に「安心」と「感動」と「ホスピタリティー」の提案を

NJI は心に響く音楽活動をサポートします



株式会社 エヌジェイアイ

<http://www.nji.co.jp/index.php>

音楽それはもうひとつのことば

11月11日 17:00 「フランス音楽とワインの夕べ」

11月12日 13:30 「子供のための音楽のお城」

会場 スタジオ TO 音楽院サロン

スタジオ TO 2 音楽院はすべての音楽を愛する方たちの学びの場です いつからでもご参加下さい

スタジオ TO 2 音楽院 03-3399-5539 email:studio-to2@nifty.com <http://www.studio-to2.com/>